現地の動き

# 伊都地方における トルコギキョウ栽培への取り組み

## 1．はじめに

伊都地方は柿を主体とする果樹栽培が盛んであるが、柿の価格低迷により花き栽培も注目されてきている。特にトルコギキョウは柿栽培との複合経営が可能であるため、４年前から橋本市で栽培が始まっており、現在５戸の農家で栽培されている。

## 2．現状

初期段階から栽培に取り組んでいる農家は３戸で、９月下旬定植による３～４月出荷＋７月出荷の作型を行っている。ボリュームがあり市場評価も高く、順調に面積を伸ばしてきた。しかし昨年苗の購入先を変えたことから、生育にばらつきがでて問題となっている。

また昨年から新規参入が２戸あり、超促成２度切りの作型にも取り組んでいる。日射量や温度など問題点もあるが、柿栽培との労力配分もうまくいき、現時点では成功している。

トルコギキョウ部会は農協を中心として活動し、研究会や園地巡回など技術の習得に励んでいる。

## 3．新しい取り組み

普及センターはかつらぎ町の天野地区において10月出荷をめざした展示圃を３年前から設置している。天野地区は標高450mに位置する冷涼な所で、気候を生かし10月に高品質なものを出荷するのを目的として取り組んでいる。技術的にはほぼ確立されており、完全雨よけ栽培のためコストも低く押さえる事が可能である。展示圃の設定により関心は高まったが、高齢化等の問題により普及には至っていない。しかし可能性は十分にある。

## 4．今後の課題

○技術力及び組織力の向上

○地域に適した作型の検討

以上のことを重点課題として推進していく予定である。今年も新規参入者が予定されており、組織力の向上が求められている。今年の目標は自家育苗を行うことにより、苗の均質化及びコストダウンを図ろうとがんばっている。

小さな産地ではあるが今後も産地強化及び柿との複合経営による経営の安定化を図っていく。

（伊都地域農業改良普及センター）

## 編集後記

うめ、なの花、さくら、もも…、春爛漫の季節がやってきてました。

明るく、のびやかに、胸躍る１年でありたいと思います。（Y・M）

和歌山県暖地園芸センターニュース No.13
平成10年3月20日発行
編集・発行／和歌山県暖地園芸センター
〒644-0024　和歌山県御坊市塩屋町南塩屋724
TEL／0738－23－4005
FAX／0738－22－6903